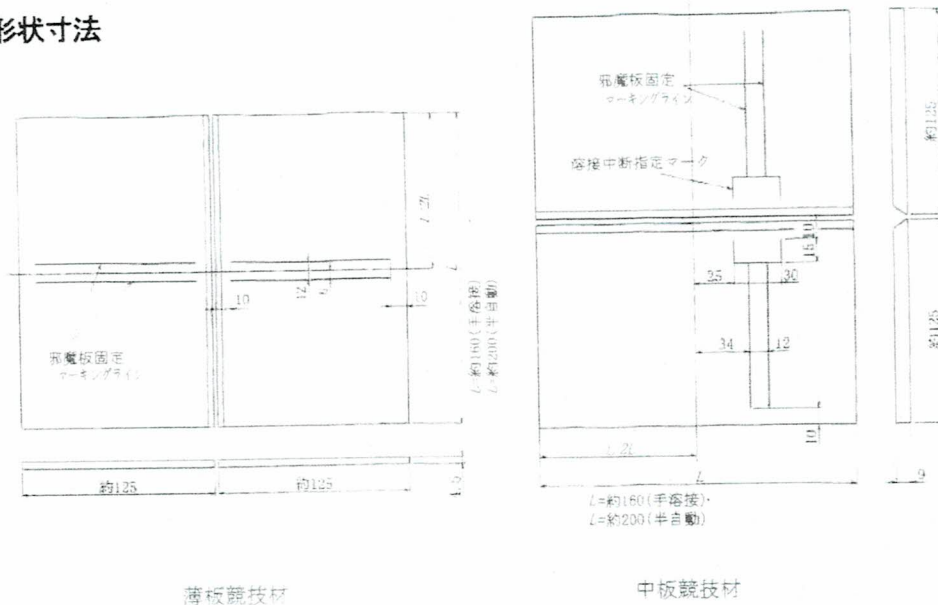


概要図集

- 図 1 競技材形状寸法及び開先形状……………p. 1
- 図 2 邪魔板の形状および取付け位置……………p. 2
- 図 3 邪魔板の取り付け位置……………p. 3
- 図 4 曲げ試験片採取位置とビード方向……………p. 4
- 図 5 中板競技材の初層棒継ぎの指定範囲……………p. 5
- 図 6 競技材への刻印の打刻要領(薄板・中板共通)……………p. 5
- 図 7 作業台及び溶接機の競技ブースの配置図……………p. 6
- 図 8 溶接用作業台及び固定具図(スカラップ付の邪魔板を
用いた薄板の溶接取付け例)……………p. 7
- 図 9 固定具の使い方……………p. 8
- 図 10 タック溶接用ジグの形状および使い方……………p. 9

競技材形状寸法

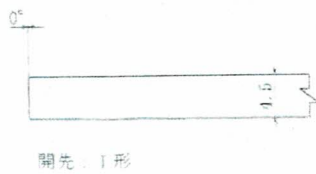
単位:mm



薄板競技材

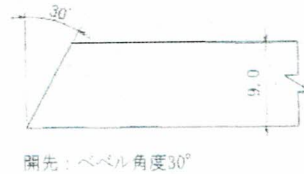
中板競技材

a) 競技材形状



開先: I形

薄板競技材

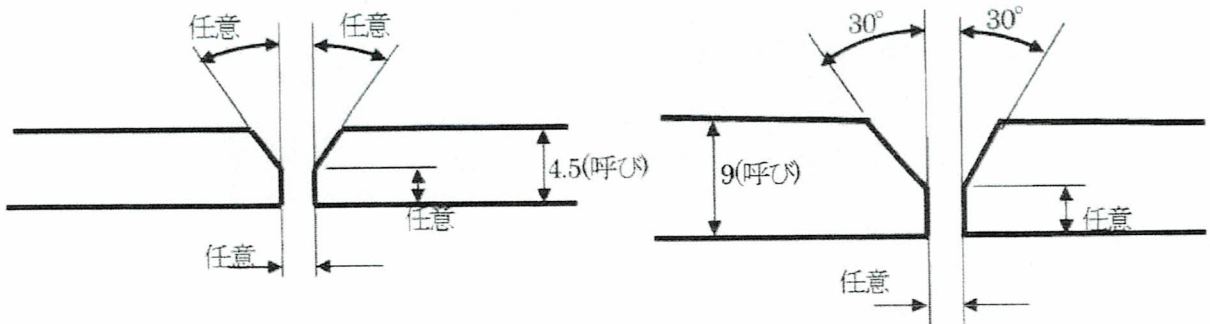


開先: ベベル角度30°

中板競技材

b) 配付時の開先形状

開先形状

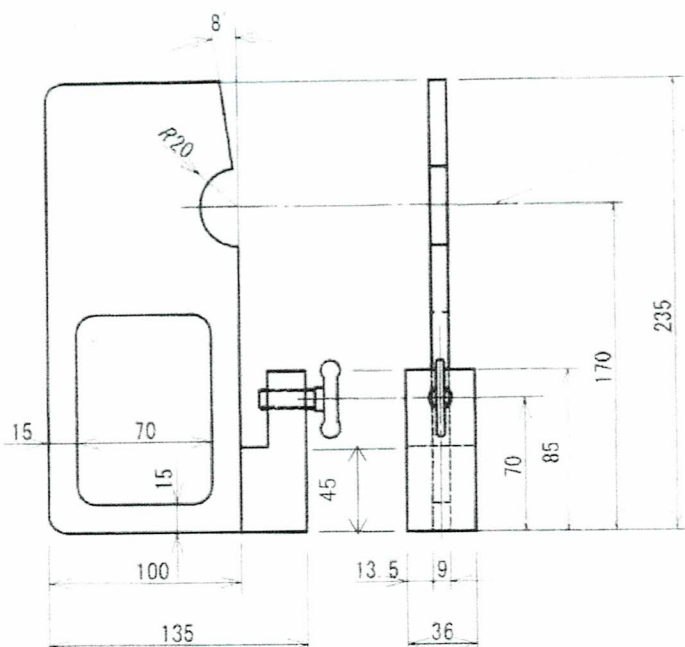


- 注: ①支給材の開先はI形とする。
 ②開先の形状はI形、V形、L形のいずれでもよい。
 ③ベベル角、ルート面、ルート間度は任意とする。

- 注: ①支給材の開先はV形とする。
 ②開先のベベル角度は変えてはならない。
 ③ルート面、ルート間度は任意とする。

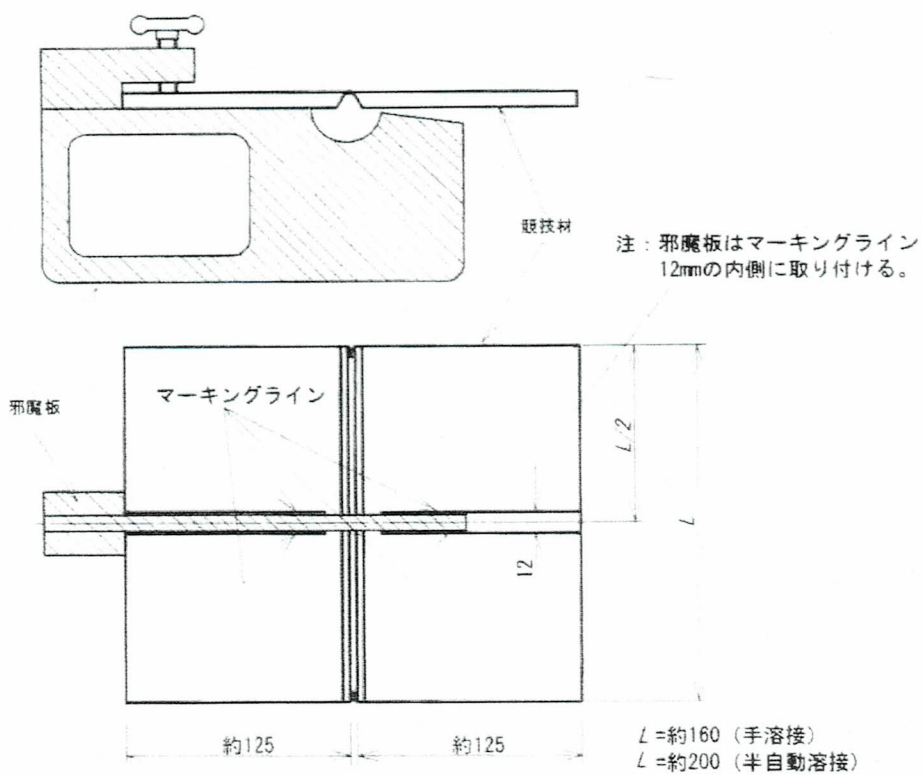
図1 競技材形状寸法及び開先形状

単位：mm



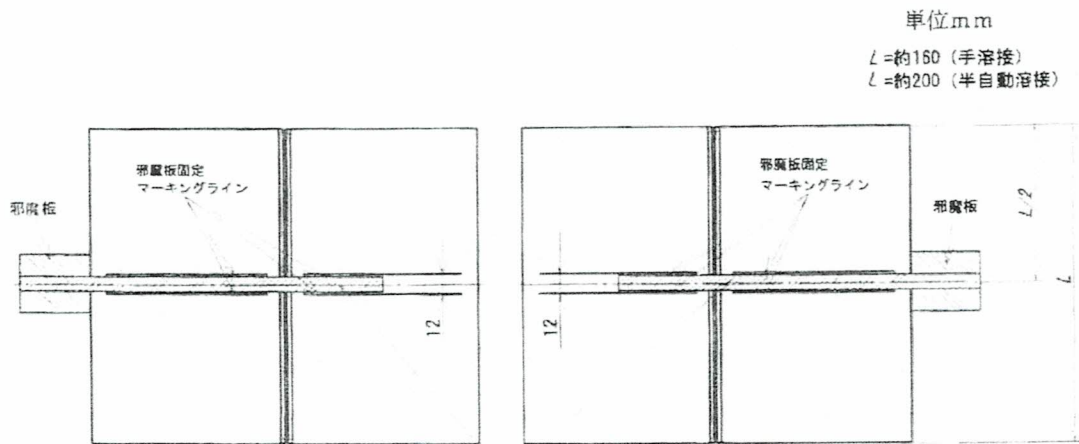
スクラップの寸法
手溶接・半自動溶接共通

a) 邪魔板形状



b) 邪魔板取付け位置 (薄板の例)

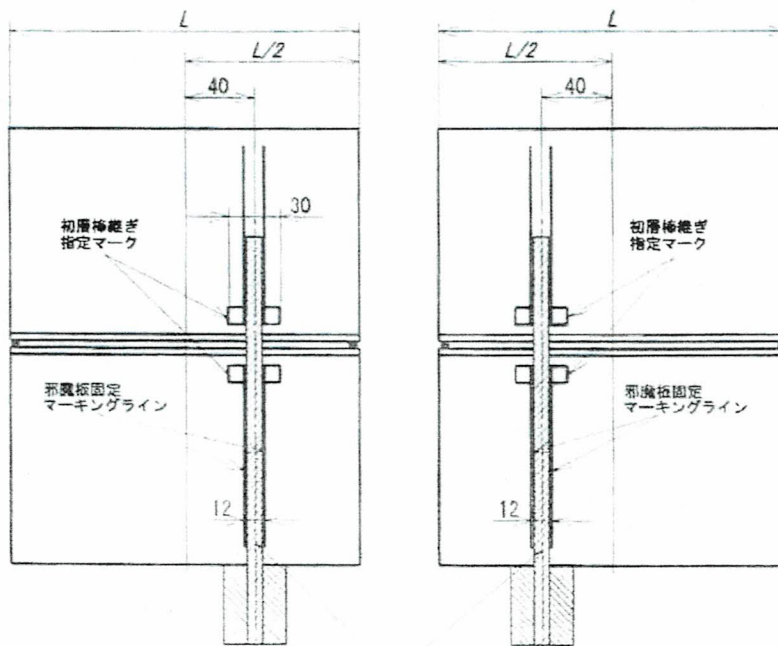
図2 邪魔板の形状及び取付け位置



注：邪魔板は左右どちら側に取り付けても良い。
 邪魔板はマーキングライン 12mmの内側に取り付ける。

a) 薄板競技材

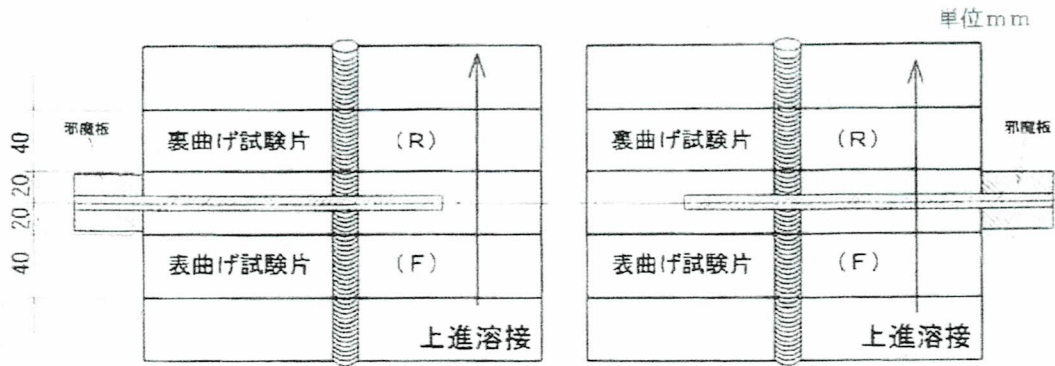
L = 約160 (手溶接)
 L = 約200 (半自動溶接)



注：邪魔板は左右どちら側に取り付けても良い。
 邪魔板はマーキングライン 12mmの内側に取り付ける。

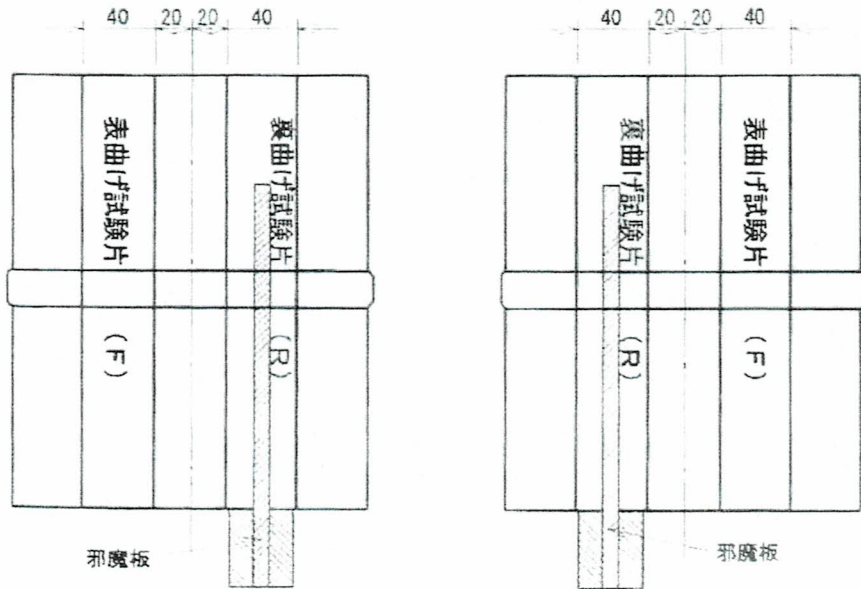
b) 中板競技材

図3 邪魔板の取付け位置



- ① 邪魔板は左右どちら側に取り付けても良い。
- ② 溶接姿勢・溶接方向は立向上進とする。

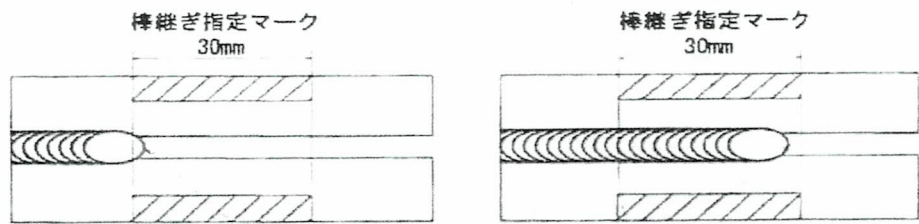
a) 薄板競技材



- ① 中板競技材の溶接方向は右進でも左進でも良い。
- ② 初層の溶接方向は同一方向とする。
- ③ 棒継ぎ中断を申告し、確認を受けてから再スタートする。
- ④ 中間層の溶接方向は規定しない。
- ⑤ 最終層の溶接方向は全パス同一方向とする。
- ⑥ 層数、パス数は任意とする。
- ⑦ 初層前に取付けた邪魔板は全ての溶接が完了するまで外してはならない。

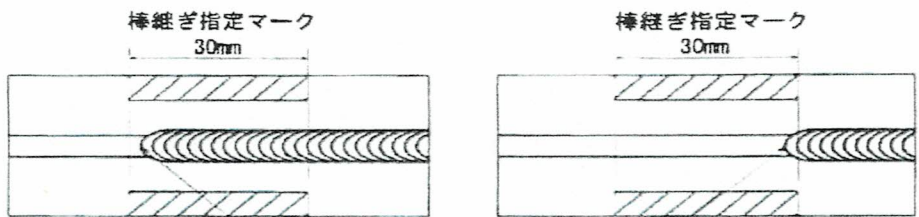
b) 中板競技材

図4 曲げ試験片採取位置とビード方向



クレータ先端が指定範囲内であること

(1) 初層棒継ぎ指定位置 30mm でアークを切る場合



スタート端部が指定範囲内であること

(2) 初層棒継ぎ指定位置 30mm でアークスタートを行う場合

図 5 中板競技材の初層棒継ぎの指定範囲

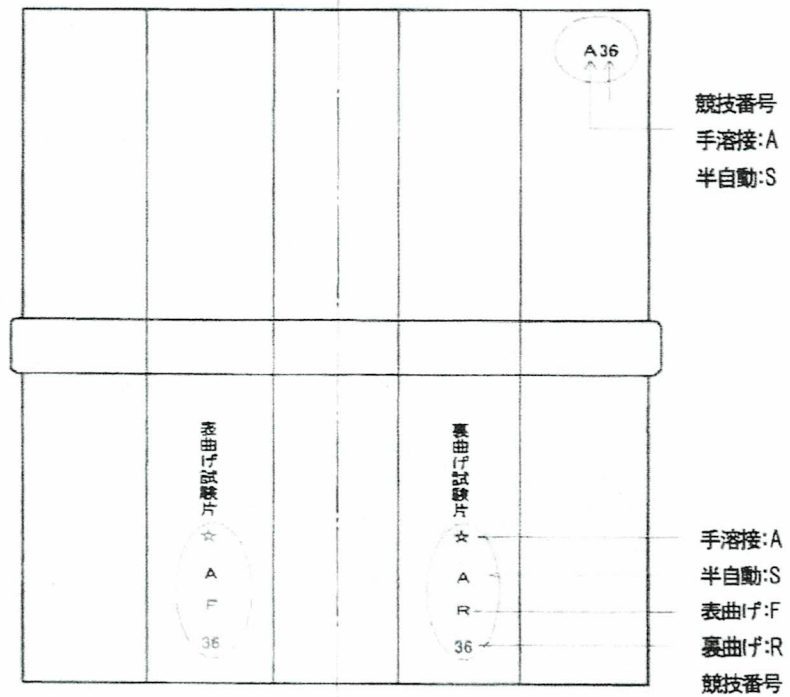
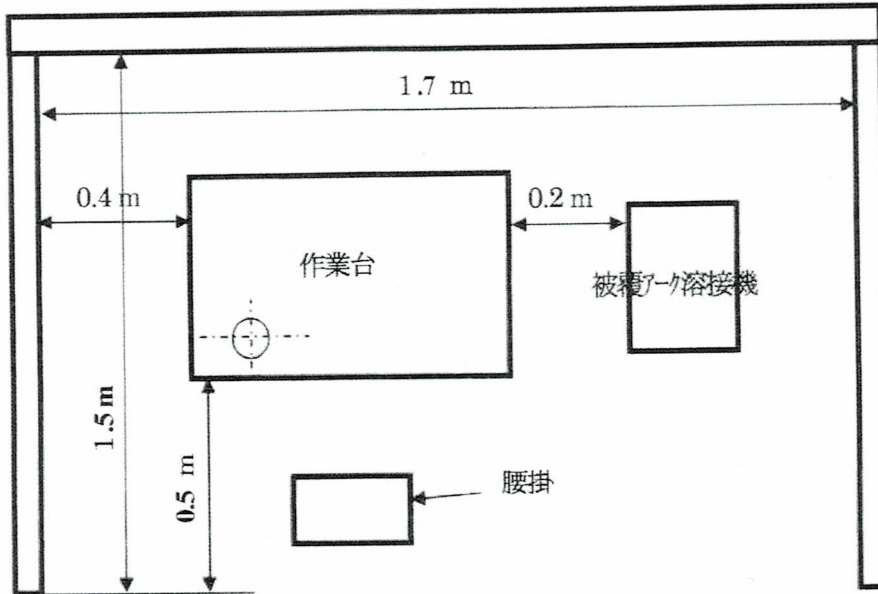


図 6 競技材への刻印の打刻要領 (薄板・中板共通)

溶接ブース配置図

a) 被覆アーク溶接



b) CO₂ 半自動アーク溶接

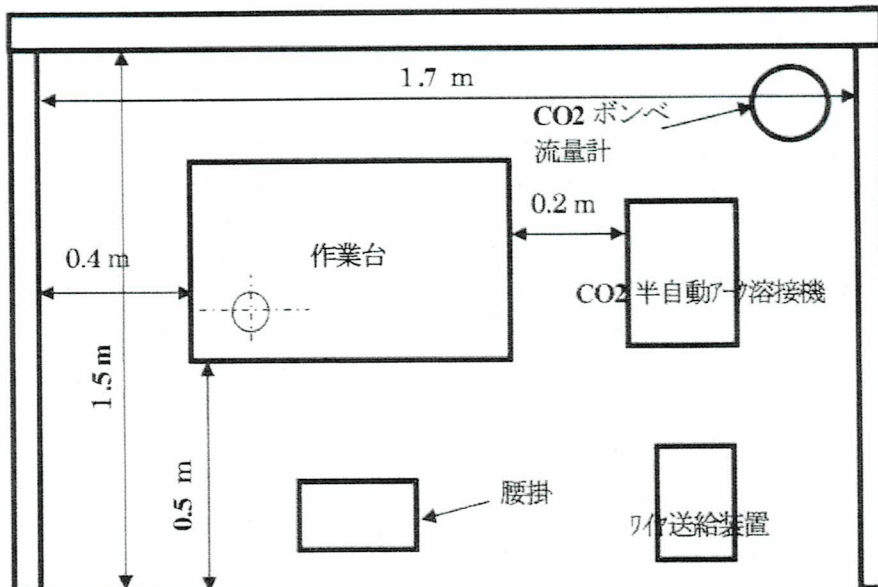


図7. 作業台及び溶接機の競技ブースの配置図

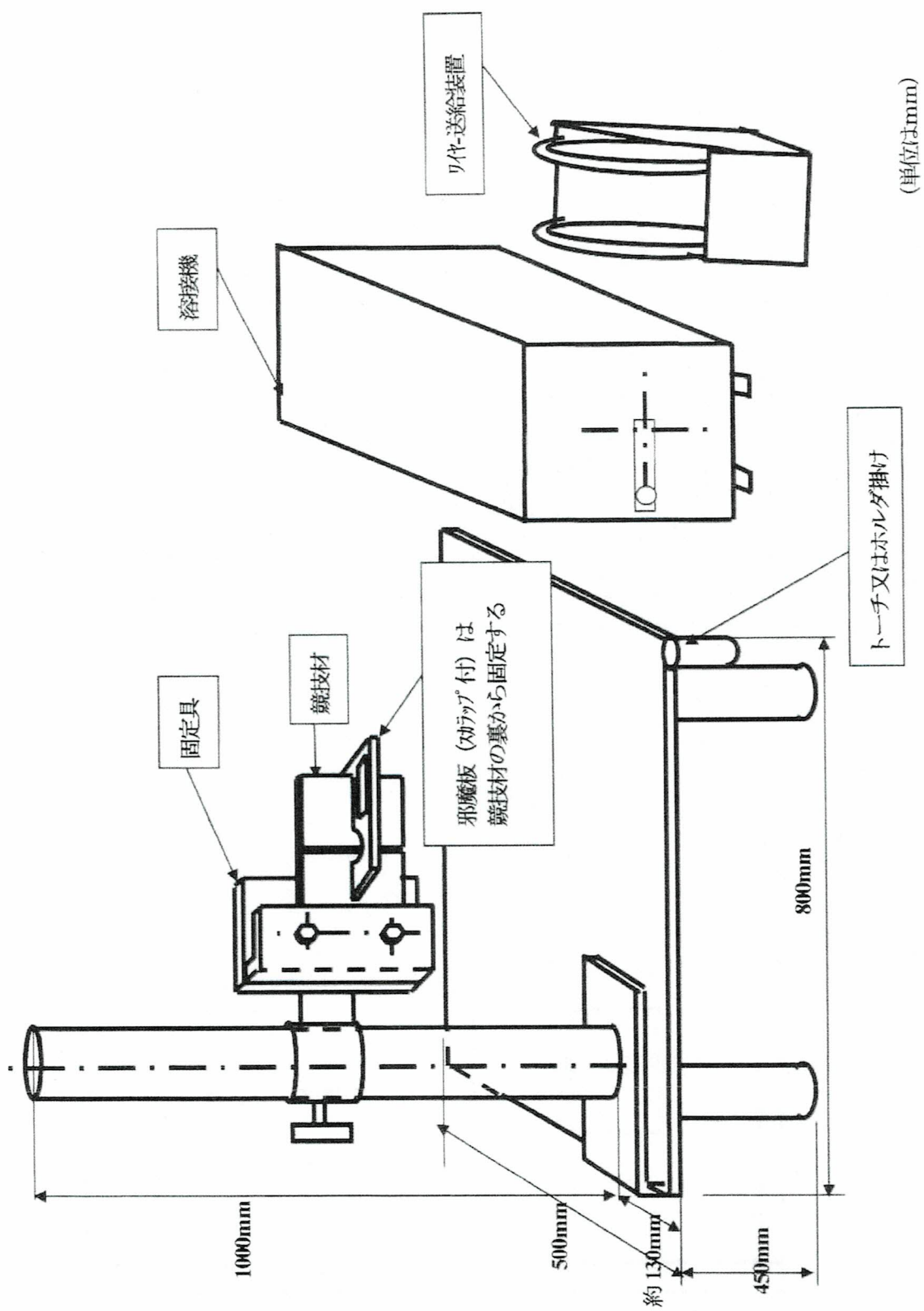
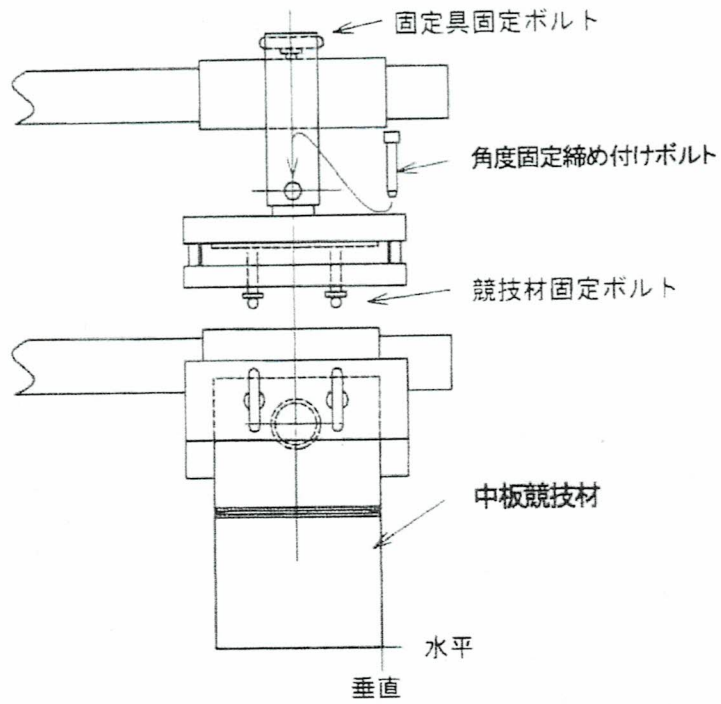
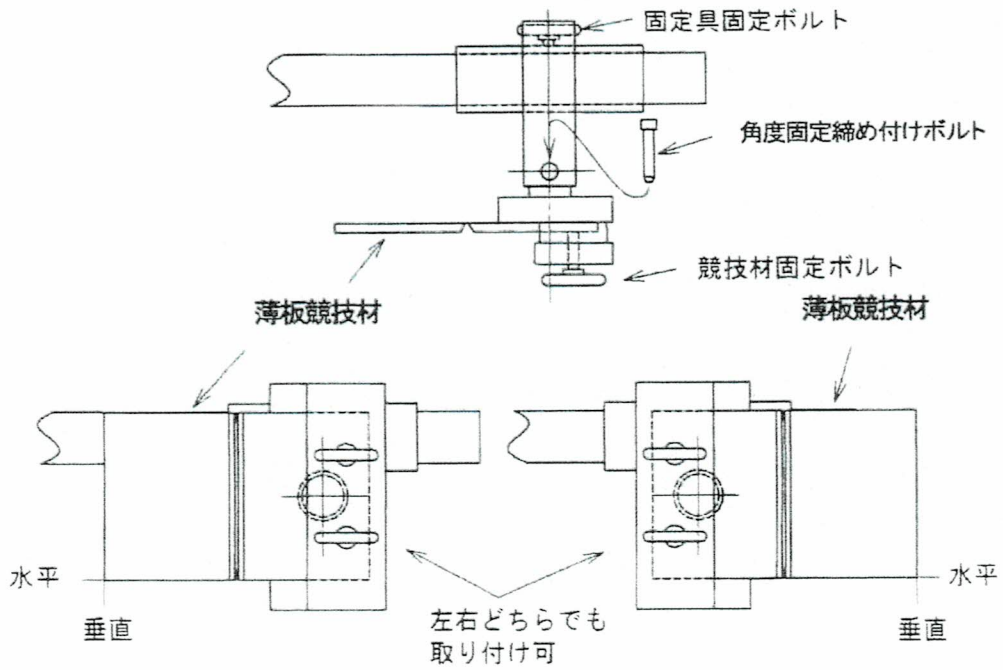


図8. 溶接用作業台及び固定具図 (スcrap付の邪魔板を用いた薄板の溶接取付け例)

競技材の固定具への取付方法



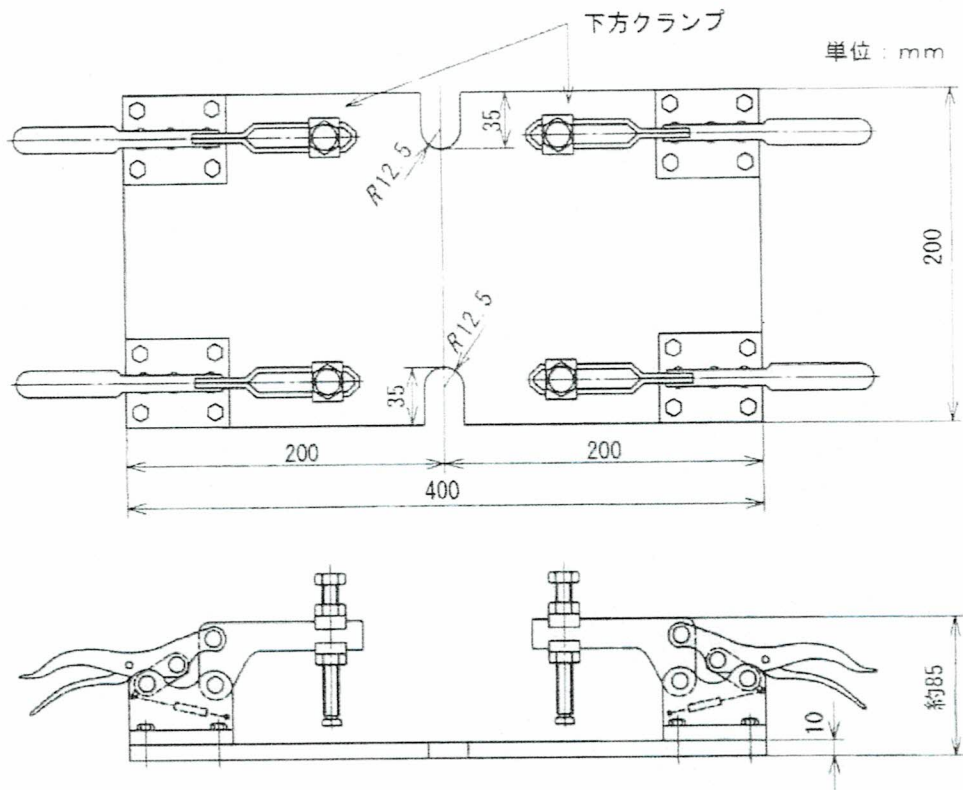
a) 中板競技材の固定方法



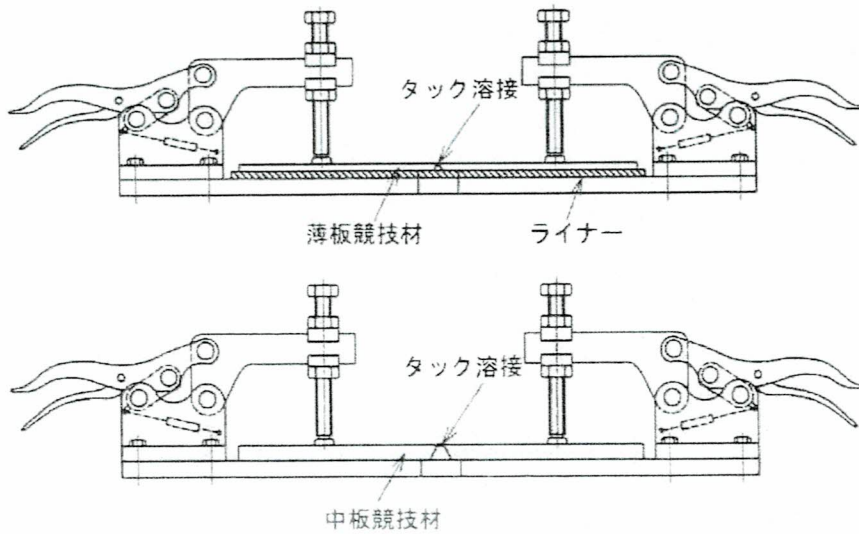
b) 薄板競技材の固定方法

図9 固定具の使い方

タック溶接用ジグ(参考)



a) タック溶接用ジグの形状



b) タック溶接用ジグの使い方

図10 タック溶接用ジグの形状および使い方